

第1学期終業式式辞（令和6年7月19日）

皆さん、おはようございます。先週の豪雨による土砂災害では、お亡くなりになった方がおられます。心から御冥福をお祈りするとともに、被災された方に、心からお見舞いを申し上げます。

今日で、1学期が終わりますが、皆さんにとって、1学期はどんなものだったでしょうか。私は、始業式で、2、3年生に、「がんばっていきまっしょい」の言葉どおり、目標に向かって頑張っていこう、そして、時間を管理する意識を高く持っていこう、と話しました。1年生には、入学式で、東高での出会いと経験を通して、豊かな人間性を身に付けてほしいと話しました。

各学年の皆さんの成長は、どうだったでしょうか。

ここに、本が5冊あります。5冊の共通点は、筆者が本校の卒業生だということです。皆さん、いろいろな分野で、日本、世界を舞台に、活躍しておられます。

まず、ショートショート作家、田丸雅智さんの『E高生の奇妙な日常』。E高とはeastの東高。田丸さんは現在36歳、東高でM先生に数学を習った、その話もショートショートの不思議な話として載っています。

この本は、田丸さんと同年代の佐藤文香さんが、今年、賞を受賞した詩集『渡す手』です。佐藤さんは、高校時代、俳句甲子園で全国の最優秀句に選ばれ、今、俳句と詩の二刀流で活躍中です。

この本は、敷村良子さんの『がんばっていきまっしょい』。今年の秋、アニメ映画となる、本校ボート部を舞台とした青春小説です。敷村さん、田丸雅智さん、佐藤文香さんには、今年実際にお会いして話をすることができました。私にとって、とてもすばらしい時間でした。

この本、河部壮一郎さん『デジタル時代の恐竜学』。この方は、もうすぐ40歳で、今は、福井県立大学恐竜学研究所の学者です。

最後の一冊は、三好郁夫さんの『坊っちゃん、ウィーンへ』。三好さんは、東高では水泳部、愛媛大学に進学され、現在は音楽家、ウィーン在住の方です。昭和30年生まれです。

この『坊っちゃん、ウィーンへ』の中で、三好さんは「音楽家として成功する秘訣」を、協調性・体力・時間厳守だと述べています。内容を一部紹介します。協調性は、仕事の上で他者との妥協もできること。それはどんな職場でも求められます。体力は、ヨーロッパで仕事をする中で痛感したこと。中学校の卓球、高校の水泳。部活で培った基礎体力が、とても役に立った。そして、音楽家として成功する秘訣は、時間厳守と、その結果生じる信用。地元の人を差し置いて私に来た仕事に遅れたら、次のオファーは金輪際来やしません、と述べておられます。

協調性、体力、時間厳守。長年、世界で活躍する方が言われる「成功の秘訣」には説得力があります。今、東高生に朝の遅刻はほとんどありません。次にできることは、目標実現のための時間の管理です。自分の目標、ゴールから逆算し、この夏休みに何をすべきか、しっかりコントロールしてほしいと思います。

そして、最後にもう一度、「がんばっていきまっしょい」について。今年改めて脚光を浴びるこの言葉を、もう一度見直し、頑張ることのすばらしさや尊さ、そして、「がんばれ」と祈るだけではなく、みんなで頑張っていこうという東高の合言葉、東高の精神、東高魂についてもう一度考えてほしい。夏休み、何を頑張るのかは一人一人違います。でもみんなが、そして自分も、目標地点から逆算して「がんばって」目標に向かっていく、その頑張りを糧に、皆さん一人一人成長してください。二学期、成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

以上で、式辞を終わります。